

公衆衛生委員会では、月に1回程度外部委員より公衆衛生等について有益な情報を提供いただいております。協会職員の皆さまにもお役立ていただける内容が多くあると考え、ご紹介させていただきます。  
ぜひお読みください。

今回は、10月と11月の公衆衛生委員会でご発表いただいた外部委員の先生方からの情報をご紹介します。

ご発表いただいた先生方

**田鎖 愛理 先生**（岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 講師）

**内田 勝彦 先生**（大分県福祉保健部理事兼審議監（保健担当））

## 公衆衛生の専門性を生かした パブリック・コメントへの意見提出

<本発表における利益相反の開示>

本発表に関連して、開示すべき利益相反に該当する項目はありません。

本発表は、第83回日本産業衛生学会東北地方会で発表した内容です。

2025年10月9日(木)

地域医療振興協会公衆衛生委員会 情報提供  
岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 田鎖 愛理

## 本県の看護人材確保の現状と 訪問看護等の課題

内田 勝彦  
大分県福祉保健部理事兼審議監(保健担当)

2025年11月13日  
公益社団法人地域医療振興協会 公衆衛生委員会

# 公衆衛生の専門性を生かした パブリック・コメントへの意見提出

## 田鎖 愛理 先生

岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座 講師



### 📄 背景・目的

- **パブリック・コメント**：岩手県の施策・計画案を公表し県民意見を反映する手続き
- 産業医・精神保健指定医・社会医学系専門医（指導医）・労働衛生コンサルタントとして専門性を活かした意見提出
- **目的**：自験例をもとに意見内容と反映状況を検証し、今後の活動に活かす

### 📊 対象計画

#### 2019年提出

岩手県自殺対策アクションプラン

#### 2024年提出

- 岩手県保健医療計画
- 岩手県医師確保計画
- 岩手県がん対策推進計画

# 結果と考察

## 🎯 主な成果

### 岩手県自殺対策アクションプラン（2019-23）

- **勤務問題による自殺対策の記載不足を指摘** 一部反映  
→ 2024-28プランで記載継続・拡充
- **アクションプラン本文での他の施策の記載不足を指摘** 全部反映  
→ 2024-28プランでも継続
- **久慈モデルの骨子に関する記載が混乱を招くとする懸念を指摘** 全部反映  
→ 2024-28プランでも継続

### 岩手県保健医療計画ほか（2024-29）

- **保健医療計画**：医師の働き方改革に関する意見提出、数値誤り修正
- **医師確保計画**：盛岡医療圏の目標医師数や、岩手県に立地する唯一の医学部である岩手医科大学の医師確保の必要性について指摘
- **がん対策推進計画**：緩和ケア研修会の効率化を提案（現在検討中）

## 🧠 考察

- 自殺対策アクションプランでは、意見が次期プランに継続・拡充された
- 勤務問題の記載増加は社会的ニーズの高まりを反映している可能性
- 保健医療計画では大幅変更に至らず、住民説明も考慮し今後注視

### 💡 結語

専門性を活かしたパブリック・コメントは施策見直しに有効である  
公衆衛生の知見を政策に反映させる有用な手段として活用できる

# 大分県の看護人材確保の現状と 訪問看護等の課題

## 内田 勝彦 先生

大分県福祉保健部理事兼審議監(保健担当)



## 大分県の看護職員数の動向

### 現状

- ◆ 看護職員数は **21,665人** (令和6年度)
- ◆ 長期的には増加してきたが、**現在が"頭打ち"状態** **要注意**
- ◆ 看護職員は**大分市・別府市に集中**する傾向

## 看護職員養成の現状

### 県内養成所:18か所

- 大学3校・養成校4校・5年一貫校5校・准看護師学校6校

### 深刻な課題

- ◆ 定員充足率 **71.3%** と低調
- ◆ 特に**准看護師学校は危機的状況**
- ◆ 来年度・再来年度に**各1校が閉校予定**
- ◆ 就職率は約7割で推移

## 就業場所別の变化

- ◆ 病院・診療所:准看護師が減少、看護師と保健師は増加傾向
- ◆ 訪問看護ステーション:准看護師も含め増加しているが、**質の担保が課題** **重要**

## 訪問看護ステーションの課題

### 設置状況と機能強化型の減少

- ◆ 設置数は増加、県の人口10万対では **全国4位**
- ◆ 高度なケアが可能な「機能強化型」ステーションが**減少** **要注意**
- ◆ **重症例不足により算定取り下げが3か所発生**
- ◆ **背景:**病院との連携不足、ステーション間での機能分化不足
- ◆ **対応:**強化型とそれ以外の役割分担が必要
- ◆ 小児訪問看護は対応ステーションが **3割** にとどまる

## 特定行為研修修了者の状況

- ◆ 修了者数:令和4年度 **57人** → 令和6年度 **104人** と増加
- ◆ 医療計画上、質の高い看護の評価指標にもなっている
- ◆ 訪問看護分野は **11.5%** と少ない **要改善**

### まとめ

大分県の看護人材は量的には一定の水準を維持しているが、  
質の担保・地域偏在・訪問看護の機能強化など  
構造的課題への対応が急務である